

剣道スポーツ少年団指導者 松崎邦之さん(大谷)、小川正志さん(下阿井)

### 島根県スポーツ少年団顕彰 登録指導者表彰を受賞

町内の剣道スポーツ少年団の指導者である、松崎邦之さんと小川正志さんが、指導者としての永年の功績が認められ「島根県スポーツ少年団顕彰 登録指導者表彰」を受賞。8月10日には、伝達式が仁多中学校武道場で行われました。

#### 小川正志さん

小川さんは、来年結成40年を迎える、阿井地区剣道振興会スポーツ少年団の指導者として20年以上活躍されています。剣道技術の指導のみならず、子どもたちの健全育成にも貢献されています。



受賞した小川さん(左)と松崎さん(右)

#### 松崎邦之さん

松崎さんは、結成から45年を迎える八川小学校剣道スポーツ少年団において、20年以上指導に当たられています。永年に亘る尽力により、現在も剣道の盛んな八川地区として、中学校・高校へ多くの選手の輩出しています。

八月十八日、十九日の二日間、大呂の島上木炭鋸工場(日刀保たたら)で、横田中学校の生徒六十四人が「たたら体験学習」を行いました。この体験学習は、昭和六十三年から始まり、今年で二十四回目となり、同校のふるさと教育の一環として毎年夏休みに行われています。操業体験に先立ち、八月九日には、奥出雲たたらと刀剣館で、国選定保存技術保持者の木原明村下から話を聴いたり、館内を見学するなど、操業体験に向けて事前学習を行いました。操業体験一日目には、二基の炉づくりや炭切りなど操業の準備。二日目には、四人の村下役を中心に、炎が燃え上がる二つの炉に、砂鉄百五十キと木炭二百九十キを装入しました。この日は、出雲市立旭中学校の生徒十五人も参加。炉内に風を送る鞆を動かす作業を、横田中生徒と協力して行いました。

### 郷土の伝統技術に触れる

#### 横田中生徒がたたら操業を体験

午後三時頃からは、それぞれの炉を解体し、玉鋼を含んだ赤々とした鋼(約五十キ)を力を振り絞って取り出すと、生徒たちから大きな歓声が上がりました。

生徒たちは、それぞれの役割のもとで、互いに協力しながら懸命に取り組み、最後はやり遂げた達成感に満ち溢れていました。

村下役を務めた系原一輝さん(二年)は、「辛いことや苦しいこともあったが、全員で



姿を現した鑄の迫力に息をのむ生徒たち



2日間の操業体験をやり遂げた生徒たち



## ふるさとで成人の誓い 平成23年度 奥出雲町成人式

奥出雲町成人式が八月十五日、横田コミュニケーションセンターで開催され、新成人が大人としての新たな一歩を踏み出しました。今年成人式を迎えたのは、平成三年四月二日から平成四年四月一日生まれの町内出身者と在住者二百五十七人。式典には、そのうち百三十三人が出席しました。新成人達は、真新しいスーツ、華やかなドレスやワンピースに身を包み、友達と近況を語りあつたり、写真撮影をするなどし、久しぶりの再会を喜んでいました。



再会を喜ぶ新成人で賑わう会場



呼名を受ける新成人

式典では、国歌、町歌の斉唱に続き、新成人一人ひとりの名前が呼ばれ、それぞれに晴れやかな声で返事をしました。続いて、井上町長から「この日を迎えられたのは、ご両親をはじめ、周囲の方々の温かい教えや支えがあつたからであり、このことを胸に刻みかけがえのない人生を切り拓いてほしい。そして、成人式を契機に、常に大人としての問題意識を持ちながら、それぞれの目標に向かって努力してほしい」と新成人にエールを送りました。

これを受け、新成人を代表して小川真帆美さん(八川)が「奥出雲町を離れてみると、故郷の良さを改めて感じる事ができた。その一つである、幼い頃から両親や地域の方々から学んできた、あいさつなどのコミュニケーションを実践し、社会で活かしていきたい」と新成人としての誓いを述べました。



誓いの言葉を述べる小川さん

また、式典の前には、奥出雲町を紹介する映像が上映され、新成人はふるさとへの思いを新たにしていました。この成人式の様子は、全町にケーブルテレビで生中継され、多くの人が新成人の門出を祝いました。